

新人大会コロナウイルス対応等について

岩手県高体連ラグビー専門部

1. 基本的な考え方

部活動（大会参加）は、十分な感染症対策を行った上で、生徒の健康・安全の確保のために内容や方法を工夫しながら実施する。

- （ア）部活動（大会参加）は、生徒本人と保護者の意向を尊重して、参加を強制しないこと。
- （イ）教員は、参加する生徒の健康状態を把握し、生徒の体調管理を徹底させること。
- （ウ）引率教員・外部コーチはチーム状況や大会留意事項を理解しておくこと。

2. コロナウイルス対応（選手・指導者）について

- （ア）事前に健康チェックシートを入手し、試合当日の健康チェックを行う。
- （イ）健康チェックシート（チーム用）を本部に提出する。（メンバー表提出と同時に）
 - ※生徒引率顧問以外の役員は、健康チェックシート（関係者用）を提出する。
- （ウ）各チームで手指消毒・うがい等を徹底する。
 - ※バスの乗車時や宿泊施設での消毒液等は各校で用意する。
- （エ）会場入場時は選手・指導者・スタッフは、原則、マスクを着用する。
- （オ）試合開始直前のマウスガードチェック時に手指消毒する。
- （オ）ボトル等を他の選手と共有しない。
- （カ）セーフティーアシスタントはラテックスグローブ等を活用する。

3. コロナウイルス対応（保護者・応援・外部団体）について

- （ア）無観客とする。
 - 健康チェックシート（関係者用）を提出した保護者等に限り、観戦スペースで観戦することができ、各校で事前に健康チェックシート（関係者用）を保護者に配布し当日持参してもらう。また保護者へマスクの着用、ソーシャルディスタンスに配慮する等事前連絡する。
- （イ）応援については太鼓・メガホン等を使用した応援行為、大声での応援行為を禁ずる。
- （ウ）マスコミ・学校取材関係については本部受付後、体温測定を義務づける。
 - （岩手県以外のマスコミ関係者については、取材制限もあり得る）

4. 大会運営について

- (ア) 運営委員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。なお、昼食時は特に細心の注意をお願いします。
- (イ) 大会本部は密集を避ける工夫を施し、パソコンやアナウンスマイク等は使用者が代わる度に消毒する。
- (ウ) 大会にドクター・救急救命士の常駐をお願いする。ケガ等で受診する際は、緊急時や試合中を除いてマスク着用、ジャージは着替えて、汗を拭き、手足などはアルコール消毒する。発熱患者は原則受診できない。発熱や体調不良など感染が疑われる人が出た場合は検温を行い、疑いがあるようであれば保健所の電話相談窓口に連絡して指示を受ける。当該チームで速やかに対応する。選手の場合は、保護者に連絡の上、保護者同伴で対応するように努めること。
- (エ) 審判員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。熱中症予防のため、審判員やA R 1、2、3にはマスク着用を義務づけない。また、使用したレシーバー等は消毒を徹底すること。
- (オ) 使用したボールやベンチ等の消毒を行う。
- (カ) 補助員生徒は原則マスク着用すること。

※新型コロナウイルス感染症の影響で、内容を変更することがあります。